

<「自分の親は将来の自分」期：「自分が親になるなんて」編-1>

対象(時間)：まもなく親になる人(110分程度)

## 親になるって！？ ～命を授かる責任と喜び～

【ねらい】子どものいる生活を想像し、親になる心構えを持つ。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札、ワークシート、アンケート用紙

時間	アクティビティの展開	留意点	備考
：	○名札付け(来た順に)	○全員が名札をつける。(ニックネーム可) ○男女混合が良いのか、男女別が良いのかは、あらかじめ決めておく。 ※妊婦さん対象の場合は、過激な運動は避け、気分が悪くなったときに休める場所を用意しておく。	※スケジュールを板書しておく。 ・机は講義形式
： (5分)	○ファシリテーター(学習支援者)自己紹介、主旨・ルール等説明	○和やかな雰囲気づくりに配慮する。 ○写真を撮る場合は、予め了解を取る。(肖像権)	
： (10分)	<b>アイスブレイク(雰囲気づくり)</b> 「キャッチ」 ①円をつくり、全員の顔が見えるようにする。 ②全員、左手指で筒をつくり、左隣の人の前にその手を持っていく。 ③全員、右隣の人の左手指の筒の中へ、自分の右手の人差し指を上から入れる。 ④リーダーの「キャッチ」という合図で、自分は右手の人差し指を上へ抜こうとし、右隣の人は左手指の筒を締めてキャッチしようとする。これを繰り返す。 ⑤数グループに分ける。	→「キャ、キャ、キャ、キャ、キャット」とか言ってだましてもよい。 →必要に応じて、男女別グループに分ける。	・机を撤去  ・グループ数に応じて、机を配置
： (15分)	<b>&lt;エピソードを読みましよう&gt;</b> ○エピソードを読み上げる。(P2上) ○設問(P2中)の記入 ○グループ内で意見交流	○三つの約束(発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守)、ただし、言いたくないことは発表しなくてもよい。(パス有り)	
： (25分)	○データを読む。(P2下、P3上) ○設問(P3上)の記入 ○設問(P3下)の記入 ○グループ内で意見交流	→これは全国調査の平均であって、「実際にはこれ以上かかります」という説明を加える。 ○赤ちゃんが生まれるのは大変だぞ、という気持ちになれるように… ○でも、赤ちゃんが生まれるのは楽しいぞ、という希望と喜びが持てるように…	
： (30分)	<b>&lt;考えましよう、出し合いましよう&gt;</b> ○設問(P4上)に記入してもらう。 ○フリートーク		
： (20分)	<b>&lt;学習を振り返りましよう&gt;P4</b> ○ワークシートへの記入 ○グループごとに発表 ○ファシリテーターの話	○あえて「子育てコスト」という切り口を提示した教材であり、本旨は「親になるという自覚」を促す教材であることを説明する。 ※時間があれば県民の声も読む。(県民の声は必ずしも「模範解答」ではなく、いろんな意見があるということを示すためのもの)	
： (5分)	○終了・片付け ○アンケート記入	→参加者全員で行う。 →アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰
〈メモ〉			